

スキャンサービス (紙文書電子化)

～会計士・税理士・弁護士・司法書士・建築士・弁理士・その他士業～

士業の方にも好評です

お困りの方へ

- 紙ベースで業務が流れることが多くどうしても書類がたまっていく
- トラブル等があると困るのでなかなか書類を捨てられない
- 事務所で電子化作業をする人手がない
- 個人情報が多く電子化を外注するには問題が多い



弊社の電子化サービスで解決



- 人手がかからず仕上がり品質も良い
- セキュリティ完備なので安心
プライバシーマーク取得
ICカードで入退室管理のセキュリティールームで作業
書類の引取りは社有車で引取り
- ファイル名はご希望通りに付与
- 電子化後の廃棄 (溶解処理) までお任せ
機密文書専用溶解炉を持つ溶解処理工場と提携
- 半年に1回など定期的な作業を依頼できる
- データ化されると過去案件を簡単に閲覧できる



株式会社 宏和

Kowa Corporation

東大阪市長田東 1-7-22 TEL 06-6789-2313 FAX 06-6789-2339

<http://www.d-kowa.co.jp/>

<http://scanning.jp/>

オンデマンド印刷 会社案内、パンフレット、チラシ、名刺、カード、封筒、シール、伝票、表彰状
冊子印刷 取扱説明書、カタログ、記念誌、広報誌、報告書、論文、自分史
電子化業務 紙文書・紙図面スキャン(電子化)サービス、データエントリー(入力)、データコンバート
CAD業務 CADデータ出力、CADデータ入力(トレース・設計)、電子納品データ作成
コピー・製本 大判コピー、カラーコピー、各種製本、ラミネート、パネル・看板制作
その他 人材派遣、人材紹介、マイクロ撮影、マイクロフィルムスキャン、WEB制作

(株)宏和が毎月お客様へお役立ち情報をお届けします。

コウワ/ワ

MONTHLY NEWS LETTER Vol.32

2018

5
May

コウワ/ワ 5 Vol.32

発行所：株式会社宏和
所在地：〒577-4001 大阪府長田東 1-7-22 TEL: 06-6789-2313

(株)宏和



今年の3、4月は極端に暑かったですね。このまいくと真夏はどうなるのやら、
と思ってしまう。昨年11月に弊社の所在地、中央線長田駅前ホテルが
開業しました。そのため、殺風景な長田駅前にもインバウンド客が来るよう
になり、ホテルの前のショッピングモールでも海外からの旅行者を見かけます。
訪日外国人客による景気下支えは非常に大きいと感じます。

代表取締役 日笠宏昭

ベトナムの結婚式に行ってきました

先日、ベトナムで結婚式に出席する機会がありました。2012年にも1度出席していますので2回目になります。日本とそんなに大きな違いはないのですが、少しお国柄を紹介させていただきます

1回目は新郎がホーチミンから5時間位の田舎町、新婦はホーチミン在住でした。ベトナムの結婚式はお互いの場所でそれぞれ行うようで、このときも、新郎の実家と新婦の実家で2回行われました。私は新婦の実家のホーチミンでの結婚式に参加しました。昼過ぎ、新郎ご一行が新婦の家の近くに到着し待機しています。ほどなく、新郎と親族・友人が貢物を持って行列を作り、新婦の家に入っていきます。貢物は、お酒、果物、おこわ、お菓子などということでした。家に入るとご先祖様の祭壇（日本の仏壇を派手にしたようなもの）の前で結婚式です。



式が行われる新婦の家



新婦の家に貢物が運ばれる



新郎新婦はこんな感じ

式の後、夜は場所を変えて披露宴です。こちらは日本の披露宴と大きな違いはないのですが、全体的にゆるい感じで流れていきます。服装も女性は伝統衣装のアオザイ、パーティードレス、シンプルなワンピース、男性はスーツ、ノーネクタイでカッターシャツ、ポロシャツにジーンズ等結構カジュアルです。入口にご祝儀を入れる箱があり、各自ご祝儀を入れて会場に入ります。

相場は親密度にもよりますが、50万ドン（約2,500円）位。人数は150人くらいだったと思います



祝儀を入れる家形の箱

披露宴は、若い男女による踊りでスタート。最初だけ司会が入り、あいさつ、ビデオ紹介、ケーキ入刀、シャンパンタワーと続いたあと食事が始まります。生バンドが歌い始めたのですが、全く誰も聴いていません。その後、出席者によるカラオケ大会になり私にもお鉢が回ってきて、知り合いと2人で、日本語で「乾杯」を歌いましたが、案の定ほとんど誰も聴いてない状態。ベトナム料理中心の食事が進んでいくにつれ、パラパラと帰っていく人がおり、最後の鍋が終わるころには、人が半分くらいになり、その後も三々五々会場を後にしていきます。最後のあいさつは何もなく自由解散です。



カラオケタイム

先日出席した**2回目の結婚式**は、新郎が南アフリカ人、新婦がベトナム人という国際結婚。やはり南アフリカとベトナムで2回結婚式を行うとのことで、ホーチミンの結婚式に出席しました。新婦がクリスチャンなので、ホーチミンにある教会でのおごそかな結婚式でした。



舞台上



おじさんばかりの聖歌隊



教会の結婚式2



教会の結婚式1



新しい披露宴会場

砂絵アーティストの実演



会場内

翌日の夜、最近できた披露宴会場でパーティーです。ホテルのような豪華な会場で、その日は5組ほど同時に披露宴が行われていました。出席者は200名ほどでかなり派手な演出でした。（バブル期の玉姫殿のような感じです。ちょっと昭和の雰囲気がありました。）砂絵アーティストのショーがあり、新婦の子供のころからの写真紹介、お決まりのケーキ入刀、シャンパンタワーの後、食事が始まったあとはカラオケもなく落ち着いた宴会でした。新郎新婦はずっと各テーブルをまわっていました。1回目同様、司会は最初だけで、食事が終わるとドンドン人が減っていき自由解散です。それぞれが好きなように楽しんで勝手に帰っていくベトナム式の披露宴は、ゆるい感じで気をつかわなくて案外いいのではないかと思います。